

第69回全日本勤労者弓道選手権大会実施要項

1. 目的 職域弓道の普及振興、弓道技能の向上及び相互の親睦を図るとともに弓道の発展に寄与することを目的とする。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 後援 (申請予定) 明治神宮、明治神宮崇敬会、公益財団法人日本武道館、日本武道協議会
4. 主管 東京都弓道連盟
5. 期日 令和4年6月11日(土)・12日(日)
6. 会場 明治神宮武道場至誠館弓道場・第二弓道場(全日本弓道連盟中央道場)
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1 TEL:03-5302-5865
7. 競技種目 近的競技
8. 競技種類 団体競技(1チーム3人立)
9. 競技内容 的中制(坐射・直径36cm霰的)

10. 競技日程

日程	時刻	内容	会場
6月11日(土)	9:30~	1班 予選1回目	中央道場/至誠館
		1班 予選2回目	
	14:30~	2班 予選1回目	中央道場/至誠館
		2班 予選2回目	
6月12日(日)	9:30	決勝トーナメント 進出のための競射	
	10:30	決勝トーナメント	
	16:00	表彰式	

※6月11日(土)予選は、参加チームを2班に分けて、午前・午後入替制として実施する。

11. 競技方法

- (1) 予選は、1団体24射(各自4射2回)にて、予選2回の累計で的中数上位16チームを決勝トーナメント進出とする。ただし、同位が発生した場合は翌日決勝トーナメント進出のための競射を行う。
- (2) 決勝は、1団体12射(各自4射1回)のトーナメント法で行う。
- (3) 決勝進出決定において同中の場合は、1団体3射(各自1射)にて競射を行う。
- (4) 決勝トーナメント戦の組合せ抽選は実施しない。予選的中数の上位からシードとし、同中の場合は、予選立順の順番とする。
- (5) 制限時間は、1立12射の場合は7分30秒以内とする。
なお、競射は制限時間を設けない。
- (6) 予選は、中央道場・至誠館弓道場とも3射場、決勝トーナメント戦とも3人立2射場で行う。

12. 監督・選手の変更及び欠員

- (1) 参加申込締切後の監督・選手の変更は、監督及び選手1名に限り認める。変更する場合は、所定の「監督・選手変更届」(別途配布)を大会前日までもしくは当日受付時に、参加申込先又は受付へ提出すること。(FAXでも可。但し、「監督・選手変更届」正本を提出のこと。)
- (2) 選手の立順変更は認めない。
- (3) 参加申込締切後、選手に欠員が生じた場合は、2名いれば出場を認める。

13. 立射申請・取矢免除申請

申請は、所定の「立射・取矢免除申請書」(別途配布)を参加申込先または大会当日受付へ提出すること。※診断書等は不要

14. 表彰 優勝から3位(2チーム)までを表彰する。

15. 参加資格

- (1) 同一の官公庁・会社に所属する者。但し、非常勤・嘱託を除く。
- (2) 監督・選手は、各都道府県弓道連盟から選抜又は推薦された代表チームとする。
- (3) チーム構成は、4人[監督1人(選手兼任も可)・選手3人]とする。
 - ①監督・選手は、公益財団法人全日本弓道連盟ID番号を保有していること。
 - ②監督・選手は、他チームとの二重登録はできない。
- (4) 参加チームの制限については、次のとおりとする。
 - ①各地連2チーム以内とし、加えて開催地1チームの増枠を認める。
 - ②前回優勝チームは、上記①に関係なく出場できる。

16. 適用規則

公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに本実施要項による。

17. 参加申込

- (1) 方法：参加チームは所定の参加申込書に必要事項を入力後、所属する地連へ提出すること。地連は申請者の資格等確認の上、締切日までに申込書を下記のアドレスにメール送信により申し込むこと。参加料は本連盟の指定の口座に締切日までに振り込むこと。
- (2) 注意点：参加チームは申込に際し、所属地連の締切日に十分注意すること。各チームから本連盟に直接申し込みをすることはできない。必ず地連が取り纏めて行うこと。
- (3) 申込先：E-mail：taikaikanri@kyudo.jp
- (4) 送金先：郵便振替 00140-0-112225番
銀行振込 みずほ銀行 渋谷支店 (普) 250506番
口座名義 (財) 全日本弓道連盟
- (5) 申込受付期間 令和4年4月11日(月)～令和3年4月22日(金) 必着のこと

18. 参加料

1チームにつき、20,000円とする。申込後の棄権チームには参加料を返金しない。

19. 宿泊・昼食弁当

宿泊・昼食弁当の斡旋はない。各自で手配・用意すること。

20. 注意事項

- (1) 大会参加にあたり、地連経由で配布の「選手必携」を確認すること。
- (2) 予選のチーム立順は、締切後主催者にて抽選を行い決定する。
- (3) 練習会場は設営しない。また、練習のための競技会場は開放しない。
- (4) 競技の服装は、監督・選手とも弓道衣(白筒袖、黒袴、白足袋)とする。
- (5) チーム立順のゼッケン(配布)は、立順1番の選手が右前腰部に付ける。
- (6) 選手は、矢を6本(替矢2本を含む)用意すること。同中競射の1本目は、替矢を使用する。
- (7) 弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が修正されなければ失権とする。
- (8) 会場へは、公共の交通機関を利用すること。
- (9) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。
- (10) 参加者は健康保険証を持参のこと。
- (11) 新型コロナウイルス感染症感染予防に関して、ガイドラインに則り対策を講じる。
- (12) 大会2週間前から大会当日まで検温等の健康観察を各自実施し、平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)がある場合は出場できない。

21. 映像の取り扱いについて

個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。

22. 大会申込書に記載される個人情報の利用目的について

申込書の提出により、以下の取り扱いの旨、承諾を得たものとする。

- (1) 大会プログラム並びに事務連絡文書への記載(氏名、勤務先、所属都道府県等)。
- (2) 大会結果報告への記載(氏名、勤務先、所属都道府県等)。
- (3) 公益財団法人全日本弓道連盟発行の月刊『弓道』ならびにホームページならびに本連盟公式アカウント YouTube等への掲載(氏名、勤務先、所属都道府県等)。
- (4) 報道関係、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関係しない。関係法令を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。